

<多様な担い手の確保に取り組む事例>

## ○世代間交流で活気のある集落づくり

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県 <sup>さんのへぐんたつ</sup> 三戸郡 <sup>こまち</sup> 田子町 第1 <sup>だいちいいとよ</sup> 飯豊			
協定面積 50ha	田 (100%) 水稲、野菜	畑	草地	採草放牧地
交付金額 403万円	個人配分			60 %
	共同取組活動 (40%)	役員報酬、体制整備活動 (花植え等)、事務費		24 %
		水路、農道等の維持・管理活動		12 %
		農用地の維持・管理活動		4 %
協定参加者	農業者 71人			開始：平成12年度

### 2. 取組に至る経緯

田子町は、岩手県や秋田県の県境に接する青森県最南端に位置し、にんにくの町として全国的に有名である。集落は、その田子町東部に位置する飯豊地区にあり、畑作と水稲の経営が多い地域である。

当協定は、若い年代の農業者が少ないことから、今後、集落の中核となる農業者を育成するため、平成12年度から制度に取り組んでいる。

### 3. 取組の内容

協定に参加する農家では、地元中学生を受入れ、にんにく、枝豆、トマトなどの農業体験を行っている。農業体験後には、生徒全員の感想をまとめた報告書が届けられるが、「また農作業をしたい」など好評な意見がほとんどで、受入れた農家としても学校との交流を喜んでいる。この子供たちの中から、集落や町の担い手となる後継者が出てくるよう、第3期対策でも学校との交流を継続していく。

また、集落の担い手として中核となる認定農業者の育成についても、引き続き実施していく。



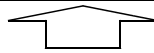
【総会】



【にんにく収穫の体験】

**[集落の将来像]**

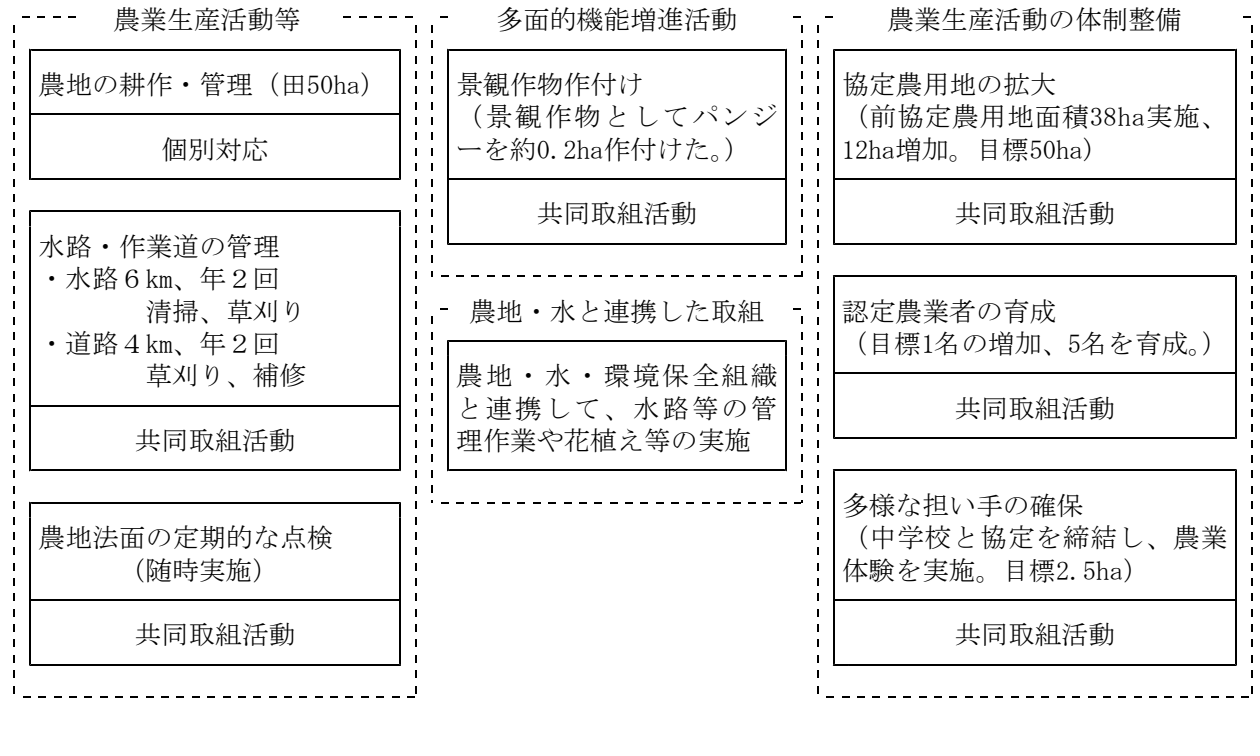
- 高齢者が持っている様々な技術を世代間交流により次世代に継承し、認定農業者の育成及び多様な担い手を確保して農地の保全を図る。また、地域住民とも連携しながら景観整備活動や伝統行事の保存にも努める。



**[将来像を実現するための活動目標]**

- 地域活性化に向けて地元中学校と協定を締結し農業体験を実施
- 認定農業者の育成及び多様な担い手の確保による農地の保全
- 地域住民と連携した景観整備活動の実施及び伝統行事の保存

**[活動内容]**



**集落外との連携**

- 多様な担い手の確保、後継者育成として、地元の田子中学校と協定を締結し、農業体験を実施している。

**4. 今後の課題等**

これまで、学校との交流や景観作物の作付け等の活動を実施してきたが、この活動が集落の人に理解され、集落協定への参加者が第2期対策より23名の増加となった。

今後も、地域の活性化へ向けた取組活動を継続し、多様な担い手の確保を目指す。

**[第2期対策の主な成果]**

- 認定農業者の育成 (H17: 3名、H21実績: 4名)
- 学校教育等との連携
  - ・ 地元中学校と協定を締結し農業体験の実施  
(参加者H17:20人、H18:27人、H19:30人、H20:27人、H21:31人)